



そら組だより<最終号>

R7.3.14
臼井幼稚園

今年も卒園の時期が参りました。新しいランドセルを見てわくわくする反面、慣れ親しんだクラスの友達や先生と離れ、新しい環境になんとなく不安を抱いているお子さんもいらっしゃるでしょう。人というのは変化を嫌うものだと思います。できるだけ現状を変えたくない、変えようとしても変えたくない自分自身の意識に引っ張られるのです。だからチャレンジすることは子ども達にとって、いえ大人にとっても、ハードルが高く、かなりのエネルギーを要するものも少なくありません。でも、日常の小さなトライ＆エラーを積み重ねて人は成長していくもので、それは一生続くのです。大きな転機（進級、進学、転校や受験、転居、就職、転職）というのはこれから何度も乗り越えなければならない波でしょう。みんながみんな、確固とした強い意志で進めればいいに越したことはないかもしれませんが、人に流され、まかれながら進むのも決して悪いことではありません。人はそれぞれ違うのですから、それぞれの違う力を発揮していければいいなあ、と思います。3月は別れの時期でもありますが、大きな転機の時期でもあります。一人ひとりの心の中に希望と小さな不安という変化がやってきて、それでもきっとすぐに慣れて馴染のような日常がやってくることでしょ。

私達教員は、子ども達の小さなとまどいや不安をくみ取り、サポートしていきたいと思っています。一番そばにいてくださるご両親の皆さまには、より敏感に感じ取れるなにかを、小学校へ行かれても、積極的にお話しくくださる方が、学校とご家庭の連携がスムーズにいくと思います。どうということはないと思われることでも、子どもにとっては一大事であることもあります。気になることは遠慮なくお伝えすることを強くおすすめします。

幼稚園では『実体験』をととても大切なものとして考えて、カリキュラムをすすめて参りました。子ども達にタブレットやスマホを与えないように、というのはもう時代遅れですね。検索すればすぐに出てくる答えは、便利ですぐに使えるかもしれませんが、『実体験』ではありません。chatGPTなどで簡単に得られる答えは、実体験という部分が欠落しています。これから育っていく子ども達が生きていく世の中は、解決策が簡単に見つからない問題がたくさんあります。答えのない複雑な『問い』に答えられる生きる力を、『実体験』を通じて身につけていけるよう、ご両親にも日々『問い』を立て、子どもが自ら解決できるよう心掛けていただけるといいと思います。知識を詰め込むだけの勉強ならできなくても構いません。（これからはAIが覚えていてくれます）それよりも、自分の身体で感じたことや身につけたことは一生の宝物に、生きる力になります。どんなことがあっても、しなやかにのびやかに。

大切なお子様を数ある幼稚園の中から臼井幼稚園を選び、お預けくださったことを心からお礼申し上げます。

志田裕美子

<連絡事項>

1. 卒園アルバムが出来上がりましたら、ハガキでお知らせいたします。（夏頃を予定しています。）
2. 寄付にご協力ください。
制服・体操服・縄跳び・カラーペン・筆・はさみ・クレパス
3. 文字遊び（絵本作り）は、一冊はご家庭で一緒に作ってください。詳細は、持ち帰った文字遊びの袋に入っています。
4. 卒園製作で作ったフォトフレームに写真を入れて持ち帰りますが、汚れないようにアクリル版にはフィルムを付けたままにしてあります。ご家庭で剥がしてください。

<担任からのメッセージ>

いよいよ最後のお便りですね。とって濃いな1年だったけど短かったような…そんな1年でした。

先日のお別れ遠足に行った時のお話。

「楽しみ！何乗ろうかなあ〜」

「なんの動物がいたんだっけ？」

「お菓子大量にもってきました！」と朝からテンションMAX！バスの中でもずーっとウキウキワクワク話は止まりませんでした。話だけではなく、1人が歌を歌い始めると5人、10人と伝染し最後は必ず全員が大合唱！バスの中は大音量スピーカーと化したようで、運転手が思わずティッシュで即席耳栓を作って耳にはめた程、みんなの歌声が響き渡っていました。

到着した後は、大きい広場の遊具で遊び、待ちに待った乗り物へ。バスの中でどんな乗り物に乗りたか決めておいてね〜と事前に話していたのですが、実際に乗り物を見るとどれも魅力的に感じてしまうのか、

「え〜どうしよう！決められない！」

「先生！やっぱり2つ乗っちゃダメだよ〜ね…？」

と可愛くお願いまでされちゃいました。

<2 ページへ続きます>

いいよ！と言いたいところですがグッと堪えて、本当に乗りたいもの1つに絞り、それぞれ乗り物を堪能していました。乗り終わると、

「まだ乗りたい！」

「楽しすぎた！」

「あのね！この時にね、こうなってね、キャーってなったの！」

と、大々大興奮でした。

その後はだーいすきなお弁当の時間！お弁当を開くとニコッと笑う嬉しそうなみんなの表情を見て、私もとてもホッコリしました。近くの友だちとお弁当を見せ合ったり、それぞれが色々な会話をしたり、といつもとは違う場所での食事を楽しんでおりました。

食べ終わると、大きい芝生の広場でとにかく走って走って走りまわりました。大人にはキツすぎる坂を全力で登り、1番上から全速力で走り降りたり、コロコロ転がってみたり、時間が来るまでたっぷり遊びました。

次は動物園エリアへ！どの動物達も丁度みんなが見やすいところに居てくれたので、間近で見ることができました。

「この動物はなんだろう？」

「この子〇〇くんって名前なんだって！一緒だね！」

「うわぁ！餌食べてるー！」

と、こちらでも相変わらず大興奮でした。

楽しかった時間もあつという間に終わり、バスに乗ってドイツ村を出発しました。さすがにみんなも疲れたでしょう！おやつを食べたらぐっすりなんだろうな～なんて思ったのが間違いで…最後まで大音量スピーカーの音量はMAXだったんです！そんななかでも、寝ている子もいるから声のボリュームは考えようね～って話をし、「うん、分かった！任せて！」と最初は気にしてくれていたのですが、やっぱり興奮冷めやらす…でした。

幼稚園に帰り、今日のお土産話をお家の人に聞かせてあげてね！と伝えたので、たっくさん話してくれたのではないかと思います。最後にまた1つ素敵な思い出ができました！

発表会が終わり、3月に入ってあつという間に卒園を迎えようとしています。卒園式の後でもお話しますが、この場で少しだけ失礼いたします。

今年のそら組のみんなはとにかく元気で、とっても仲良しなクラスでした。園庭で遊ぶ時もいつの間にかどどん人数が増え、最終的にはクラスのほとんどが集まって遊んでいて、私も園庭に出ると「先生も一緒に遊ぼう！」といつも誘ってくれました。

元気！仲よし！だけではなく、「なみ先生～」と言いながら抱きしめてくれたり、ギョッと手を繋いでくれたりする人懐っこいところや、泣いている子や困っている子、私が助けて欲しい時は「大丈夫？」「やってあげるよ」と気遣いができるところ、出来ないことがあると「まだやる！」と言って諦めずに挑戦するところ、たまに喧嘩をしても一瞬で笑い合っていたり、シクシク泣いている子を見つけると一瞬で笑顔に戻してくれる子がいたり、縄跳びの回数を友達に超されて悔し泣きをしながら跳び続ける努力家な子がいたり…と、まだまだたくさんあります。私自身何度も勇気を貰ったし、何度も助けて貰いました。そんな良いところがたくさんなそらぐみも、私にドカンと爆弾を落とされ、あんなに元気なみんながシーーンと反省することもありました。でもすぐに「先生～♡♡」ギューっと…本当に反省しているのか～！？と思ったりもしましたが、ツノが生えていた私もあつという間にツノは回収され、メロメロニヤニヤしていました。これは何かの作戦があるのでしょうか…？みんなに聞けずに卒園を迎えてしまいそうです…。

そして何とってみんなが見せてくれた最高すぎる

ONE PIECE。はじめはこの題材をみんなが喜んで楽しんでやってくれるのだろうか…と不安に感じていたのですが、そんな不安も全く必要なく、「今日もやりたい！」と毎日言い続けてくれていました。1年前2年前は恥ずかしがって…固まってしまつて…なんて子も、全く心配はいらなかったですね！みんながどんどん役に入り込んでとつとつても素敵な作品ができあがりしました。

少しだけと言ってたくさん書いてしまいました…。あとは卒園式後のクラス会でお話させていただきます。このお便りはもちろん卒園式前に書いていますが、卒園式でのみんなはきっと1人ひとり返事も歌声もパチッと決めてくれたのではないのでしょうか。卒園式の証書リハースルでいつもの元気はどうしたー！って程、みんなが緊張しすぎたので…きっと大丈夫でしょう！！

保護者の皆様、1年間至らない点ばかりでしたが、ご理解とご協力をいただき本当に本当にありがとうございました。子ども達からだけではなく、保護者の皆様からもたくさん愛をいただき、1年間毎日楽しく過ごすことができました。これから新しい世界へ飛び込むみんなは期待と不安でいっぱいです。どんな時も子ども達の味方でいてあげてください。そらぐみのみんななら絶対にどんなことも乗り越えられると信じています。

ランドセルを背負ったみんなに会えることを今から楽しみにしています。何かあったら何かなくてもいつでも会いに来てくださいね。お待ちしております！

1年間、本当にありがとうございました。

ご卒園おめでとうございます。

若槻 菜美